

Part/Task	観点	技能	評価規準
			(L: 聞く / R: 読む / I: 話す (やり取り) / P: 話す (発表) / W: 書く)
Warm Up	知識 技能	I・W	尊敬する人物についてその理由を書くことができる。また、その内容を相手に伝えることができる。
		L	必要な情報を聞き取って理解し、空所に適切な語を補充することができる。
	思考 判断 表現	I	自分の尊敬する人物について伝える際に、用いる語句や論理展開、構成などを工夫することができる。
		W	相手の尊敬する人物についてのレポートを書く際に、用いる語句や論理展開、構成などを工夫することができる。
Model	知識 技能	R	尊敬する人物についてのスピーチを読んで、全体の大意を掴むことができる。
		R・P	インプットした内容とともに、用いられている表現、文法事項、構成面の工夫を理解し、のちの言語活動の中で活用することができる。
	思考 判断 表現	R・P	スピーチをする上で役立つ語句や表現を意識しながらモデル文を読み直し、その意味や効果について考えることができる。
Speech	知識 技能	P・W	自分が尊敬する人物について、Modelで学んだ語彙・表現、構成の工夫を取り入れながら、アウトラインを作成しスピーチを行うことができる。
		I・W	自分が尊敬する人物についてのスピーチを聞き手にとってわかりやすいものにするために、理由やエピソード、発言の引用などをアウトラインやスピーチの内容に取り入れることができる。
	思考 判断 表現	P	聞き手の興味を引く、あるいは聞き手にとって説得力のあるスピーチにするために、問いかけやリンキングワード、順序を示す表現などを効果的に取り入れることができる。

Part/Task	観点	段階	評価規準
全体	主体的 に学習 に取り組む態 度	1	単元目標を正しく理解し、自分がこのLessonで身につけるべきことや取り組むべき活動を概観しようとしている。
		2	自分がスピーチに取り組むことを見据えて、それを表現する上で必要な単語や表現などを主体的に身につけようとしている。
		3	スピーチに取り組む中で、足りない語彙や表現を補完したり、Organizationで扱われた表現を活用したりして自己調整に努めている。
		4	Lesson全体の学びをふり返り、当初の目標に対して自分がどれくらい達成できたのかをメタ的視点でふり返ろうとしている。
		5	ふり返りの内容から自分の課題を認識し、それを改善するために何をすべきかを自分なりに導き出そうとしている。

評価のポイント

観点	技能	評価規準	A	B	C
知識・技能	I・W	(1) 尊敬する人物についてその理由を書くことができる。また、その内容を相手に伝えることができる。	支援をほとんど受けなくても、表に自分の意見または相手の情報をまとめることができる。また、それを論理的な展開や構成を工夫して相手に詳しく伝えることができる。	一定の支援を受けながら、表に自分の意見または相手の情報をまとめることができる。また、それを論理的な展開や構成を工夫して相手に伝えることができる。	支援を与えても、表に自分の意見または相手の情報をまとめることができない。また、それを論理的な展開や構成を意識的に取り入れて相手に伝えることが難しい。
	R・P	(2) インプットした内容とともに、用いられている表現、文法事項、構成面の工夫を理解し、それらをのちの言語活動の中で活用することができる。	インプットした内容とともに、用いられている表現、文法事項、構成面の工夫を理解できる。また、それらを音読やリテリング活動、発表の中で積極的に活用している。	インプットした内容とともに、用いられている表現、文法事項、構成面の工夫をある程度理解している。また、それらを音読やリテリング活動、発表の中である程度活用している。	インプットした内容とともに、用いられている表現、文法事項、構成面の工夫への理解が十分でない。また、それらを音読やリテリング活動、発表の中でほとんど活用できていない。
思考・判断・表現	I	(3) 自分が尊敬する人物についてのスピーチを聞き手にとってわかりやすいものにするために、理由やエピソード、発言の引用などをアウトラインやスピーチの内容に取り入れることができる。	支援をほとんど受けなくても、聞き手が理解しやすいように、アウトラインやスピーチの内容に具体的な理由やエピソード、発言の引用などを効果的に取り入れることができる。	一定の支援を受けながら、聞き手が理解しやすいように、アウトラインやスピーチの内容に具体的な理由やエピソード、発言の引用などをある程度取り入れることができる。	支援を与えても、聞き手が理解しやすいように、アウトラインやスピーチの内容に具体的な理由やエピソード、発言の引用などを取り入れることができない。

(L：聞く / R：読む / I：話す (やり取り) / P：話す (発表) / W：書く)